

## 現況分析における顕著な変化についての説明書(教育)研究

法人名 九州大学

学部・研究科等名 医学系学府

## 1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目 I 「教育の実施体制」

## 2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名 「基本的組織の編成」

## (1) 平成 20 年度

基礎医学研究者の養成には、研究倫理のみならず他分野の知識を幅広く身につけさせる必要がある。一方、医師・医療従事者には研究マインドをもつ最先端の疾患研究を遂行できる医師科学者 (physician scientist) が求められている。これらの実践をもって、国際的な水準で活躍する研究・教育能力を兼ね備えた大学教員・研究者を養成し、また国内外で求められている健康・安全へのニーズに応えることが本学府の務めである。

平成 18 年度に文部科学省の大学院教育改革プログラムに「魅力ある大学院教育」イニシアティブが採択され、平成 19 年度入学者から新しいカリキュラムが導入された。これを契機に博士課程を再編し、医学府の全教員がすべての学生の指導・教育に積極的に参画できる体制である単一専攻制を導入

した。現代医学は、医学的知識だけでなく、薬学、理学、工学、農学などと融合した知識が求められ、また、生命情報学、システム生物学などの新しい領域の学問も生まれており、そうしたニーズに柔軟に対応できる目的別のコース制に再編した。すなわち、平成 20 年度に医学系学府博士課程の 6 専攻を医学 1 専攻とし、学生が縦断的かつ横断的に医学を幅広く学ぶことのできる体制を整え、現代社会の多様なニーズに対応できる融合的知識と専門性を兼ね備えた人材を養成する統合教育を展開できるようにした (資料 I - A)。

## (2) 平成 21 年度

平成 19 年度に保健学専攻修士課程を設置したが、全国の看護・医療技術系大学、大学病院を含む基幹病院、医療行政機関及び医療機器メーカー等から、不足している保健学における優れた研究・開発能力を有する教育者・研究者や実践的指導者・組織リーダーの養成が求められるなど社会的ニーズが高まった。そこで、平成 21 年 4 月に保健学専攻博士後期課程を設置し、より専門性の高い人材を養成できるようにした (資料 I - B)。

## 資料 I - A 医学系学府博士課程の一専攻化について

機能制御医学専攻、生殖発達医学専攻、  
病態医学専攻、臓器機能医学専攻、  
分子常態医学専攻、環境社会医学専攻  
(定員 107 名)

## &lt;教育目的&gt;

臨床研究遂行能力の育成を中心に  
据えたカリキュラム編成により、  
医療現場や研究分野で求められて  
いる実践力を修得できる実質的教  
育により、倫理性とともに、科学  
的エビデンスを構築する確固たる  
能力を有する臨床医学研究者、独  
創的な発想力とともに高い倫理性  
と研究遂行能力を備えた基礎医学  
研究者、先端医療技術開発など  
において真に世界をリードするた  
め前 2 者の素質を兼ね備えた医師科  
学者を組織的に養成する。

## 医学専攻

(定員 107 名)

## &lt;教育目的&gt;

現代医学が生命科学の基盤の上  
に基礎医学、社会医学、臨床医  
学、さらにこれらと薬学、理学、  
工学、農学、保健科学等の分野  
が融合した領域を含んだ学際的  
な学問となっており、この最先  
端の医学を学ぶ機会を、幅広い  
分野からの知の希求者に提供し、  
さらに現在から未来の医学を創  
造し推進出来る人材を育成して  
いき、社会へ還元することを目  
的とする。

## 資料 I - B 保健学専攻博士後期課程の設置について

## 修士課程 (定員 20 名)

## 看護学

臨床健康支援看護学  
広域生涯発達看護学  
がん専門看護師コース

医用量子線科学  
基礎放射線科学  
医用放射線科学

検査技術科学  
生体情報学  
病感情報学

## 博士後期課程 (定員 10 名)

保  
健  
学

看護学  
教育者・研究者  
養成コース

医療技術系  
教育者・研究者  
養成コース